

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部 文化学科
学年(出発時)	2年
大学名	ルンド大学
国	スウェーデン
留学期間	2015年1月～2015年12月
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	昼食
13:00	学内カフェで自習
14:00	学内カフェで自習
15:00	学内カフェで自習
16:00	学内カフェで自習
17:00	授業
18:00	授業
19:00	帰宅
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Critical Animal Studies - Animals in Society, Culture and the Media	6	7.5	英語	動物の権利について: 授業内ディスカッション、個人のプレゼンテーション、グループプレゼンテーション、レポート
Introduction to Scandinavian Culture and Society	2	7.5	英語	北欧の福祉、映画、著作、音楽について: 個人レポート、2人組レポート
Media and the History of Political Rhetoric	4	7.5	英語	政治に対するメディアとその移り変わりについて: 個人プレゼンテーション、テスト
Modern Design in Scandinavia	3	7.5	英語	北欧デザインの歴史について: レポート
Media and Armed Conflicts - Past and Present	4	7.5	英語	紛争に対するメディアについて: 授業内ディスカッション、個人プレゼンテーション、2人組プレゼンテーション、小論文、レポート
Swedish: Introductory Course for Exchange Students 1		3	英語	スウェーデン語入門: テスト
Swedish for Exchange Students: Level 1	4	7.5	英語、スウェーデン語	スウェーデン語: テスト
Swedish for Exchange Students: Level 2	4	7.5	英語、スウェーデン語	スウェーデン語: テスト

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	到着時の大学、自宅への案内
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	SUSA: 2週間のスウェーデン語学習コース、テキスト20SEK / Swedish for exchange students level1~4: 各2か月、テキスト+ワーク645SEK (level1と2、3と4で各1セット、計1290SEK)

生活	
住居のタイプ	留学生寮
住居の名前	Spoletorp South
部屋タイプ	個室
ルームメイト(国籍)	前半: 中国3人、アイルランド、カナダ、イギリス、スイス、ドイツ / 後半: インドネシア2人、チリ、中国、ジョージア、ロシア、メキシコ、ドイツ
室内設備	トイレ、シャワー、電子レンジ、冷蔵庫、シンク
共用施設	キッチン、テレビ
インターネット設備	有(個人でルーターが必要)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩15分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	スウェーデン大使館
Visa取得にかかった日数	2週間
Visa取得にかかった費用	0円
Visa取得方法、提出書類等	銀行口座の残高証明書
留学先大学の最寄り空港までの経路	桑名駅から電車で中部国際空港へ向かい、飛行機をアブダビとベルリンで乗り継ぎコペンハーゲン着
渡航費用	約16万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2015年3月
帰国後の進路	大学4年生として授業の単位を取得しつつ就職活動

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1SEK＝15円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	11万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	2万5千円
宿舍費(月額)	7万円
光熱費(月額)	0(宿舍費に含まれる)
食費(月額)	3万円
その他	旅費25万円
留学期間中にかかった費用の合計	150万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

日本とは全く違うことばかりで、すべてが新鮮で、あっという間に過ぎた一瞬のような一年でしたが、振り返ってみると一年間の出来事とは思えないほど多くの経験をしました。

語学留学ではないため、英語がそれほど得意ではない私は初めのうちは困難にぶつかることばかりで、授業中はもちろん、普段の友達との会話でも言いたいことが言えずに悔しい思いをしました。そんな状態からのスタートでも、気づけば自ら話題をふったり冗談に笑いあったり、日本語であれば当たり前だったことが英語でもできるようになっていることが嬉しかったです。

また、英語だけでなく、後半はスウェーデン語の学習を始め、カフェでの注文などちょっとしたことにはスウェーデン語を使うようになりました。言葉がわかることで行動範囲も広がり、一人で国内を旅行したりしました。コンサートやミサで訪れるようになった近所の教会で英語を話さないおばあさんたちと会話することも楽しみの一つでした。

学部の授業では、自分の興味のある授業を受講し、同じ興味を持つ様々な国からの留学生と意見交換したり、お互いの国について紹介しあったりすることで考え方の幅が広がり、自分の研究テーマを日本にいるときの何倍も、グローバルな視点で深めることができました。

授業のない時間は、大学の日本語学科で日本語を学んでいる(あるいは過去に学んだ)スウェーデン人と一緒に過ごす時間が多かったです。英語とスウェーデン語を教えてもらったり、カフェに行ったり、長い夏休み期間には県内のいろんな場所に連れていってもらったり、伝統行事や郷土料理など現地の文化を体験させてもらったりと一年を通してスウェーデンを知ることができたのは、間違いなく彼らのおかげです。

私の留学は、素晴らしい人々と環境に恵まれたものでした。好きなことを学び、多くの人と出会い、楽しく生活していく中で自然と身についた自分の知識や表情を見つけるたびに、一年前とは比べ物にならないほど成長したことを実感します。すべての人、すべてのことに感謝したい大切な一年間になりました。

今後留学する人へのアドバイス

自分がどうして留学に行くのか、理由をしっかり持っていることが大切だと思います。留学は楽しいことばかりではなく、行き詰ったり辞めなくなったりすることもあるかもしれません。そういう時に、私はこの理由でここに来たのだから今逃げたくない、と自分の気持ちを前に向かせることができると後悔もしません。これを学びたい、こんなことをしたい、こうなりたい、この国が好き、などどんなことでもいいので何か一つ揺らがないものがあるといいと思います。

勉強はもちろん日常生活でも新しい発見ばかりで、充実した留学になることは間違いないので、自信を持って前進してください！

報告書記入日

2016年1月12日